

pT1b 腎癌における PD-1、PD-L1 発現と再発、予後との関連性**1. 研究の対象**

2003 年から 2019 年までの間に防衛医科大学校病院にて pT1b 腎癌に対して腎摘除もしくは腎部分切除をうけた方。(pT1b 腎癌とは、腫瘍の大きさが 4 cm を超え 7 cm 以下で、病理組織診断で周囲の脂肪組織に浸潤がなく、かつ血管内への腫瘍の進展がないものと定義されます。)

2. 研究目的・方法

チロシンキナーゼ阻害薬や mTOR 阻害薬などの分子標的薬の登場により転移性腎細胞癌の予後は改善したとされています。近年、さらに PD-1 阻害薬や PD-L1 阻害薬などの免疫チェックポイント阻害薬が転移性腎癌症例に有効であることが示され、転移性腎癌症例の予後はさらに改善される可能性があります。本研究では転移のない pT1b 腎癌に焦点を当て、腫瘍細胞と腫瘍浸潤リンパ球における PD-1 及び PD-L1 発現と臨床病理学的因子、再発や予後との相関を評価し、PD-1 や PD-L1 発現が転移のない pT1b 腎癌において再発や予後を予測できるかどうかについて検討します。研究期間は 2022 年 9 月 30 日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんのデータ・試料についてはカルテ番号と対応表を作る事によって匿名化されて個人が特定できないものにして研究を行います。

情報：病歴、患者背景、抗がん剤治療の治療歴、手術時病理所見、血液データ、副作用等の発生状況、再発時期と部位、全生存率 等

試料：過去の通常診療で採取され診断に用いられた後の腫瘍組織の遺残ホルマリン固定パラフィン包埋組織 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校 泌尿器科学講座

研究代表者 新井 悠一

電話 04-2995-1511(内線 2351)

FAX 04-2996-5210